



進路活動報告会

2月6日（金）、進路活動報告会が行われました。3年生が経験した進路実現までの流れ、2年生の間にやっておいたほうが良いこと、進路が決まった後どうしたらよいかなど、貴重な話を聞く時間になりました。

2年生は真剣に話を聞き、しっかりメモをとっている姿が見られたことから、進路に対する意識が芽生え始めているように見えました。先のように見えてますが、早い人では6月から、試験が始まる人も出てきます。

「まだ先のことから・・・」では、あっという間に夏を迎えてしまいます。自分の望む進路を実現するためには、「今」動き出さなければなりません。3年生の話を参考に、自分自身が納得できる進路を実現させましょう。



データで見る 進路関係の後悔

高校卒業後、進学や就職した人が、「やめてしまう」実際の数値を持ってきました。適当に進路を決めてしまうのか、その場しのぎの行動が後々どうなるのか。データで確認しましょう！

①近年の高校を卒業した人の離職率

出典：厚生労働省「新規学卒就職者の離職状況」

○ 年次別の離職率内訳（高卒）

時期	離職率
1年目	16.7%
2年目	12.2%
3年目	9.4%

○ 近年の高卒離職者の推移

卒業年度	高卒3年以内離職率
令和2年3月卒	37.0%
令和3年3月卒	38.4%
令和4年3月卒	37.9%



②専門学校、大学などに進学した人の1年以内の退学率

出典：文部科学省「学生の中途退学者・休学者数の調査結果」

○ 令和6年度（2024年度）の中退率

学校種別	年間中退率	中退者数
大学	2.00%	50,516人
短期大学	3.95%	2,702人
専門学校	6.05%	28,450人

大学中退の主な理由（令和6年度）

- ・転学・進路変更等：22.3%
- ・学生生活不適應・修学意欲低下：16.3%
- ・就職・起業等：14.8%
- ・精神疾患：13.2%
- ・経済的困窮：7.0%



—進路選択—

選ぶのも決まるのも自分の責任

進路選択は人生の大きな分岐点です。統計によると、高卒就職者の約4割が3年以内に離職し、大学では約2%、専門学校では約6%が中退しています。

後悔しないためには、まず**自分自身と向き合う**ことが大切です。「みんなが行くから」「なんとなく」ではなく、自分が本当にやりたいこと、興味のある分野は何かを考えてください。

次に**情報収集を徹底**すること。オープンキャンパスに参加したり、その仕事に就いている人の話を聞いたりして、リアルな姿を知りましょう。

イメージと現実のギャップが、離職や中退の大きな原因になっています。

そして、**周囲の人に相談**すること。保護者、先生、先輩など、様々な視点からアドバイスをもらうことで、自分では気づかなかった可能性が見えてきます。

迷ったり悩んだりするのは当たり前です。焦らず、納得できるまで考え、行動してください。あなたの選択を応援しています。

★まとめ★

—後悔、先に立たず—
できることは早めに